

もっと知ろう「国定・国立公園昇格」の選択について タウンミーティング 9.16



前岳(森吉神社)にて

森吉山は単独国定公園昇格か、または十和田八幡平国立公園編入か 森吉山の拡張地域(案)その価値と未来

- 令和4年6月14日環境省は八幡平周辺(森吉山・真昼山地・田沢湖等)を「国立公園区域の拡張又は国定公園の新規指定」候補地に選定しました。この環境省の方針は生物多の様性を守るため、2030年までに陸地と海域の30%を保全地域にするという「国連生物多様性条約締結国会議」の目標達成に向けて、日本は既存の自然公園の拡張調査をもとに国立・国定公園の拡大や新規指定を主眼とする政府達成目標の一環です。当地域では30年前からの森吉山国定公園格上げ要望が、テーブルに上がったことは、時代がようやく追いついたものと評価するものです。
- 令和5年2月24日、4団体は森吉山早期昇格に向けて津谷市長に要望書を提出。四つの要望事項のうち、環境省への要望書も提出(県5/26・市6/6)され、6月24日には待望のシンポジウムも開催されました。残る2つの要望は4団体が提案した拡張調査地域(案)を環境省に提示し調査を加速させること。森吉山を十和田八幡平国立公園に編入、または単独の新規国定公園の選択は、市民から意見を聴取する場を設けること。それが6月24日開催のキックオフシンポジウムの目的でしたが、環境省の説明の乏しさに加え、参加者からの意見や質問の機会もないという異例のシンポジウムとなってしまいました。
- 森吉山の昇格に伴う拡張調査は、生物多様性の保全のみならず公園の利用の増進による観光振興や林業の持続性というキーワードが含まれています。環境省は国定・国立公園の選択は「地域の意向を尊重する」としています。地域のことは「まず自ら考え 自らが提案する」。すべてを霞ヶ関に任せることなく、私達には公園計画に関わるチャンスが与えられています。このタウンミーティングは、私たちが提案した拡張地域(案)を土台に、真の「森吉山の価値と未来」の絵を描くための企画です。多数の参加をお待ちいたします。

<テーマ>

- ①都道府県立・国定公園・国立公園の比較
- ②2010年公表の国立・国定公園総点検事業で公表した18候補地の結果
- ③2020年公表の国立・国定公園争点事業業のフォローアップ14候補地の今後の方向性(実質23候補地)
- ④森吉山の拡張地域(案)その価値と未来
- ⑤私達は「なぜ森吉山単独(新規)国定公園昇格を選択するのか」
- ⑥森吉山の「新規国定公園昇格」の最短手法

<主催> 北秋田市山岳協会・NPO森吉山
NPO森吉山四季美湖・NPO森吉山ネイチャー協会
<問合せ先> 北秋田市山岳協会 金沢 聡 090-4048-1126

開催情報

日時 2023(令和5)年

9月16日(土)

14:00~16:00

開場 受付 13:00

会場 北秋田市民ふれあいプラザ

コムコム

自由参加 定員50名